

平成 27 年 4 月 6 日

関係者各位

会社名 株式会社 S H I F T
代表者名 代表取締役社長 丹 下 大
(コード番号:3697 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 福 元 啓 介
(TEL. 03-6809-1128)

株式会社 FFRI とのセキュリティテスト分野での業務提携に関するお知らせ

ソフトウェアの第三者検証・品質保証を手がける株式会社 SHIFT(本社：東京都港区、代表取締役社長：丹下大、以下 SHIFT)は、サイバーセキュリティ領域において国内で独自の研究開発を展開している株式会社 FFRI (本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鶴飼裕司、東証マザーズ：コード番号 3692、以下 FFRI) と平成 27 年 4 月 6 日に業務提携契約を決議の上締結し、セキュリティテスト分野での協業関係を深めていくことに合意しましたのでお知らせ致します。本提携により、SHIFT はソフトウェアの「品質」という観点から、情報セキュリティ分野への本格的な進出を進めて参ります。

1. 業務提携の目的

日々、便利になる私たちの生活は、数えきれない程のソフトウェアプログラムにより支えられています。それは、言い換えれば、それらに障害が起きた際に、私たちの生活に与える影響は計り知れないということです。技術革新に伴いソフトウェア製品も進化を続けていますが、それらを攻撃するサイバー攻撃は、それ以上のスピードで多様化・複雑化が進んでいます。サイバー攻撃による個人情報や機密情報の漏洩やシステムの破壊は、多くの場合、攻撃の対象となる企業や機関だけでなく、その先にいるエンドユーザーにも多大な影響を与えるため、日本だけでなく世界中で深刻な問題として、各方面で課題視されています。

SHIFT は、「すべてのソフトウェアに Made in Japan の品質を」を合言葉に、「安心・安全なソフトウェア製品の提供」のため、様々な業界でソフトウェアの品質保証、テストサービスを提供して参りました。その中で、セキュリティテストは専業パートナー企業と共にサービスを提供して参りましたが、今後はそのテスト技術やノウハウを社内に蓄積し、サービス提供範囲の拡大を進めるべく検討しておりました。

一方、FFRI は、サイバーセキュリティの研究開発企業として、また、日本における同分野でのリーディングカンパニーとして高い技術力を有し、次に起こり得るサイバー攻撃を先回りした対策技術を製品やサービスとして提供しています。様々な情報機器のセキュリティ検査サービスやセキュリティテストツールも提供していますが、IoT(モノのインターネット)が進むにつれて、セキュリティ品質の重要性はますます高まっており、セキュリティテストの必要性に関する啓蒙や、適切なセキュリティテストの手法と技術の普及が必要だと考えていました。

今回の提携により、FFRI の高度な専門的技術力と、SHIFT の業務標準化手法・効率的運営力を組み合わせることで、セキュリティ分野でのそれぞれの役割を定めた活動を推進して参ります。ますます需要の高まる一般のクライアント様向けセキュリティテストは SHIFT が担当し、FFRI は、日々複雑化するサイバー攻撃に向けた、より難易度の高い最先端のセキュリティ技術の研究開発を推進して参ります。両社のクライアントに対して、より高度なセキュリティサービスを広範囲に提供することが可能となり、この度の業務提携がより大きな価値提供に繋がるものと位置づけています。

2. 業務提携の概要

① 「ヒンシツ大学」におけるセキュリティテストに関する教育講座の開設

FFRI の協力のもと、SHIFT が企画・運営を行う「ヒンシツ大学」において、情報セキュリティ・セキュリティテストに関する教育講座を新たに開設いたします。

本サービスを通して、ソフトウェア開発に関わるエンジニアや管理者のセキュリティに対する意識と知識の向上を図るとともに、セキュリティテストの普及に努めて参ります。

② セキュリティテストに関する技術・ノウハウの共有によるサービス体制の強化

FFRI の持つセキュリティテストに関するノウハウ、テスト技術を SHIFT へ提供いただき、一般顧客向けセキュリティテストサービスを SHIFT が担当いたします。

まずは SHIFT 内部にセキュリティテストの専門家を育成、その後、属人化しがちなセキュリティテスト業務の標準化を進め、セキュリティテストエンジニアを増やすことにより、提供範囲の拡大と品質レベルの向上、ノウハウの蓄積を進めて参ります。

ソフトウェアテストの専門会社として、FFRI の提供してきたサービスレベルは維持しながらも、SHIFT のセキュリティテストを確立し、コスト面・技術面双方からのサービス導入と継続に対する障壁の低減を目指します。そして、より多くのお客様に展開していくことで、引き続き「安心・安全なソフトウェア製品」の提供に貢献して参る所存です。

SHIFT は、「すべてのソフトウェアに Made in Japan の品質を」を合言葉に、これからも幅広いソフトウェアの品質保証、テストサービスを提供して参ります。

3. 提携の相手先の概要

(1) 商号	株式会社 FFRI	
(2) 所在地	東京都渋谷区恵比寿 1 丁目 18 番 18 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鵜飼 裕司	
(4) 事業内容	1. コンピュータセキュリティ研究、コンサルティング、情報提供、教育 2. ネットワークシステムの研究、コンサルティング、情報提供、教育 3. コンピュータソフトウェア及びコンピュータプログラムの企画、開発、販売、リース、保守、管理、運営及びこれらに関する著作権、出版権、特許権、実用新案権、商標権、意匠権等の財産権取得、譲渡、貸与及び管理 4. 上記事業に関連する一切の業務	
(5) 資本金	254,463 千円 (平成 26 年 10 月 31 日現在)	
(6) 設立年月日	平成 19 年 7 月	
(7) 大株主及び持ち株比率 (平成 26 年 9 月 30 日現在)	鵜飼裕司	(※1) 24.30%
	金居良治	22.04%
	エヌ・アール・アイ・セキュアテクノロジーズ株式会社	6.51%
	ジャフコ・スーパーV3 共有投資事業有限責任組合	5.42%
	N I F ベンチャーキャピタルファンド 2005 TOKYO 投資事業有限責任組合	5.42%

(8) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 (※2)				
決算期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期	
純資産(百万円)	289	352	468	
総資産(百万円)	439	580	922	
1株当たり純資産(円)	50,950.65	207.06	275.09	
売上高(百万円)	351	541	660	
営業利益(百万円)	-	100	171	
経常利益(百万円)	39	100	172	
当期純利益(百万円)	25	63	115	
1株当たり当期純利益(円)	4,720.05	37.22	68.03	
1株当たりの配当金(円)	0.00	0.00	0.00	

※1：鵜飼裕司の所有株式数は、オーバーアロットメントによる売出的ために、野村證券株式会社へ貸し付けていた49,900株を除いて表示しております。

※2：FFRIは連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

4. 日程

業務提携契約締結日 平成27年4月6日

5. 今後の見通し

本件が当社の業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

以上

(参考) SHIFT 当期連結業績予想 (平成27年1月9日公表分) 及び前期連結実績 (百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成27年8月期)	3,043	293	285	190
前期連結実績 (平成26年8月期)	2,150	124	124	149